

みんなで作る乙訓の景観カード

京都府長岡京市 乙訓地名詩編纂「チーム乙訓」

乙訓地名詩編纂「チーム乙訓」代表 鵜野 高資

乙訓（おとくに）郡の平安期からの漢詩、さらに短歌や俳句等を加えた文芸作品で地域のアイデンティティ探りを継続しています。さらに現代の応募作品や景観写真コンテストを通じて、地域愛の醸成や共有もはかります。今回、景観カードや風土遺産ビジュアルブックを作成しました。

1 活動の概要と実績

平成23年度より我々が住まいとする地域の旧乙訓郡（京都市内西南部、現乙訓郡の二市一町、大阪府北部の島本町を行政区とし、桂川・淀川と西山連峰を東西の範囲とした地区）の平安時代から当代にわたる自然や名勝旧蹟さらには社会風土を詠ずる漢

詩作品を、平成26年度よりさらに上古代よりの和歌、俳句、連歌等も含めた各種文芸作品をも含め広く文芸作品全般にわたり、地域の誇りを収集、読み解きの編纂活動を進めてまいりました。それらは乙訓地名詩第一輯から第三輯まで刊行し、作品総数は460作品に至っています。

この間は毎年得られた成果を各地域の一般市民や学校にも共有し、皆で地域の誇りやアイデンティティを探るべく、古典の日の記念講演会や各種の講演会、勉強会を年5〜6回開催すると同時に各地の現地歩きを継続実施しています。

乙訓地名詩第一輯（平成24年4月刊行）
乙訓地名詩第二輯（平成26年1月刊行）
乙訓地名詩第三輯（平成29年3月刊行）

各200冊製本、各地の学校・文化施設に配本しています。

また、同内容の各地の風景・風土に関して現代の住民の方々がどんな感動を得ているかを探るため、平成27年度より広く一般募集をして、その成果は乙訓文雅27年度版、同28年度版として冊子刊行致しました。

乙訓文雅平成27年度版（平成28年3月刊行、全188作品）
乙訓文雅平成28年度版（平成28年12月刊行、全317作品）

さらに平成27年度より長岡京市内の残したい景観遺産を半年にわたり市民アンケートを実施して得られた10地点を対象として、平成28年度には残したい景観写真コンテストを実施しました。作品は市内外の小





長岡京市の原風景や風土を考える
 「勝龍寺区の今昔と小畑川、犬川の移り変わり」
 ・情報提供 勝龍寺区自治会 奈佐 保会長
 ・現地案内 公民館—大門橋—犬川堤防より
 三連橋—勝龍寺城下の二川

学生から高世代の市民まで合わせて82作品の応募があり、10月15日に市内8団体代表による審査を経て平成29年2月4日には表彰式を催しました。

これらの作品もふまえて、古典的文芸作品と合わせて3月末には「市民が選ぶ次の世代へ受け継ぎたい景観」長岡京市の風土遺産（景観ビジュアルブック2016年度版）としてカラー冊子1000冊刊行し、市内32地点の風土遺産マップを作成することができました。

以上、これまでの活動は該当地域の教育

委員会や図書館、資料館ならびに各地の旧家、また大学のご支援、ご協力を得て、一方市民サイドはふるさとガイドの会や関連NPO団体から、また歴史や風土ならびに動植物生体に興味を持たれるなど異能多才のメンバーの集合により、チーム乙訓として結集した集団が進めているものです。

2 29年度の活動について

これまで①に示しました刊行資料を核として、さらに広く市民や学校生徒を対象として

文芸作品と景観写真の募集を継続します。

これらの3年分の集大成として、乙訓全域を対象とした景観カードを作成します。28年度に予備検討試作を進めました。写真と文芸作品を組み合わせた景観カルタでは写真上表現の迫力が薄れるため、ハガキ大サイズの景観カードと致しました。

文芸作品や景観写真の募集は平成29年4月よりスタートして9月までの半年間の応募をもって29年度版乙訓文雅、景観ビジュアルブック2017年度版の冊子印刷は年末を目標にしました。

また、5月より乙訓地域の小・中・高等学校にも景観カードの作成打診も進めており、目標としては景観写真や作品は学校バージョン、市民応募バージョン、古典作品バージョンの3バージョンが得られればと考えています。

平成30年2月に景観カード作品発表会を開催し関連講演と作品お披露目のワークショップとしたく、さらに最優秀として選ばれたバージョンは30セット位印刷し、各地文化施設等に寄贈したく考えています。

またすでに古典的な文芸作品は関連している大学の先生より100作品以上選択に入っていますし、町の写真家4名より景観写真は集まりつつあります。

これら各大学からの5名の先生方と4名の写真家は景観カードの選考委員として内諾をいただいています。

平成29年度活動の成果は以下の通り。

(A) 乙訓景観カードは学生バージョン(42作品)、市民バージョン(52作品)、古典バージョン(52作品)、景観ビジュアルブックバージョン(23作品)の4バージョンを仕上げました。

成果のお披露目は3月21日(祝)長岡京市生涯学習センター(バンビオ)で開催しました。

(B) 景観カード文芸作品は小学生より330点、市民バージョンは3年分の乙訓文雅より490点、古典バージョンは乙訓地名詩、景観ビジュアルブック2年分より抜粋しました。カードは両面パウチタイプとして、協力いただいた学校等に配布しつつあります。

(C) 乙訓文雅平成29年度版刊行は1月末(120冊)、景観ビジュアルブック2017年度版刊行(平成30年3月、700冊)しました。

(D) 長岡京市の原風景や風土を考える会は5回の開催をしました。

①「勝龍寺区の今昔と小畑川、犬川の移り変わり」平成29年6月25日

②「戦前にみる乙訓の鉄道計画」平成29年8月27日

③西山山麓 長法寺地区周辺を学ぶ平成29年10月22日

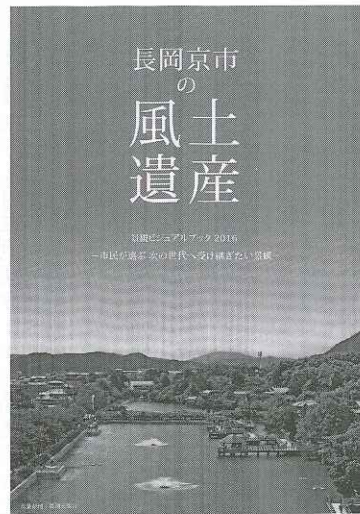
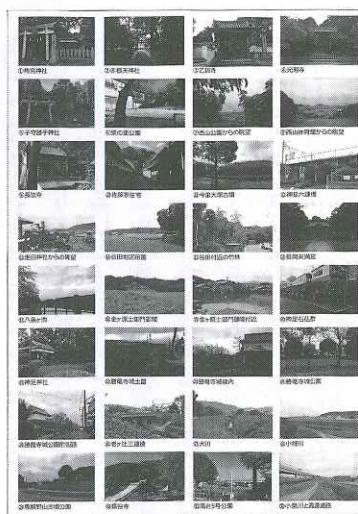
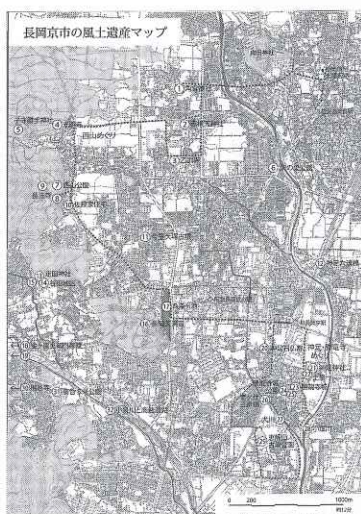
④井ノ内、今里地区の歴史や文化遺産平成29年12月16日

⑤乙訓寺と今井用水 平成30年2月15日

市民座禅会(於 公益財団法人長岡禅塾)
第1回 平成29年5月9日
第2回 平成29年11月7日

3 活動に向けた
運営資金について

従前通り、29年度度分は京都府の文化力チャレンジ助成と長岡京市の市民活動応援助成が決定をしています。さらに各講演会、勉強会の参加資料代や既刊の刊行本、冊子は活動協力費として資金援助に供しつづけます。



「長岡京市の風土遺産」景観ビジュアルブック2016より抜粋